

○委員長（菊川敬人）

議案第25号 平成28年度開成町給食事業特別会計予算を議題とします。

給食事業特別会計の歳入歳出予算について、詳細質疑を行います。質疑をどうぞ。
山田委員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

給食事業については、給食の給付金、親御さんから徴収したものを食材を買うためのものだというふうには理解しているところなのですが、ここ最近、計上の仕方が各学校ごと、中学校、幼稚園と区分されているのですが、3月に入って過剰な食材を買うというのが、町民というのですか、保護者から出てきたのです。一例を挙げると、例えばアイスが出たという。確認してもらえばいいのですが、そのアイスがハーゲンダッツか何かのアイスで、非常に高いアイスなのに、なぜ、こんなものを出すのだというものも出ましたので。

そこら辺、給付金の調整の中で調整したのかとは思いますが、通常でそういうものを出すのではなくて、例えばひな祭りだとか、そういうイベントのときに出すのであれば理解するのですが、平常時にそういうものが出たということで。ある意味、調整の中で出されたのかなというので町民のほうからありましたので、そういう予算をいただいて、これ、やっていますので、極力、そういうのはないような形の中で運営をしていっていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

前田委員。

○4番（前田せつよ）

今に関連してでございます。ハーゲンダッツということで大変にうらやましい限りでございますが、そうなりますと、やはり食物アレルギーのお子様は召し上がれないというような事案も出てくるのではないかとということが1点、危惧するところでございまして、その辺の対応の状況を聞きたいということと、もう一つ。本年度から管理栄養士の方を採用するというので、給食にかかわるさまざまな事業に大変に有効な効果が見込まれるというふうに考えるところでございますが、この辺について、どのように捉えていらっしゃるか。2点、お伺いします。

○委員長（菊川敬人）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

まず、前段のほうについてお答えしたいと思います。アレルギー対応でございます。

今年度につきましては、人数で申しますと、アレルギー対応で対応している人数ですけれども、幼稚園のほうは5名です。開成小学校が8名、開成南小学校が13名、文命中学校が6名ということで、各園・学校で対応してございます。こちらの対応につきましても、保護者のほうで病院のほうに行ってくださいまして、それで病院の診

断書、それをいただきまして、いただいたものについて学校のほうで相談した上で対応しているような状況をとってございます。

その後の管理栄養士については、ちょっとわからないのでございます。

○委員長（菊川敬人）

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田辺弘子）

では、後半の前田委員さんからの管理栄養士の部分について、お答えさせていただきます。

4月から管理栄養士を1名採用するというので、今、準備をしてございますけれども、基本的には、保険健康課の中で母子保健事業だったり介護予防事業だったりということで、今まで非常勤で対応した栄養士さんの部分に入っていただくような形をとって、あと、子どもから高齢者までのいろいろな食育の課題だったりというところを明らかにして、それに向けて今後、取り組んでいければというところで考えてございますので。4月に人事異動というような形で決定していきますけれども、基本的には町の事業にかかわってもらおうというところで考えてございますので、給食には学校のほうに栄養士さんがいらっしゃいますので、そこはリンクをしない形で動いていくというところで考えてございます。

○委員長（菊川敬人）

前田委員。

○4番（前田せつよ）

子どもから大人の食育という観点を重きに置いた形で管理栄養士ということのお話がありましたけれども、学校では既に栄養士さんはいらっしゃるわけですが、充足させるというようなこと、また先ほどの同僚議員のアイスクリームの品名等々があったわけですが、管理栄養士さんとも連携するような事業展開をされれば、給食事業に対しても、さらにいいような事柄が起きるのではないかなというふうに考えるところでございますが、その点も研究の一つとして捉えていただければと思います。

○委員長（菊川敬人）

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田辺弘子）

管理栄養士さんの部分で、今、前田委員さんから提案ということでお話がございましたけれども、初めて管理栄養士を採用するというので、当初は一つ一つの事業をこなしながらやっていくということが基本だと思いますけれども、町全体を見たときに、母子であったり、あと学童期の栄養・食育というような課題だったりというところは、管理栄養士を中心に今後展開できればというふうに考えておりますので。給食というところで、給食の部分の献立というところの栄養士のかかわりという部分はちょっとないかなというふうに思うのですけれども、広く捉えた中で、食育だったりというところで課題解決という部分では、今度採用する管理栄養士の役割というところ

ろはあるというふうに認識してございますので、その辺も含めて取り組んでいければというふうに思います。

○委員長（菊川敬人）

下山委員。

○7番（下山千津子）

管理栄養士を今年度から雇用されたということで、町として画期的な取り組みだと私は感じております。

○委員長（菊川敬人）

管理栄養士はちょっと給食とは外れていますので、今、前田委員が質問しましたがけれども、もう簡潔にお願いします。

○7番（下山千津子）

町の事業にかかわるといようなお話でございましたが、町では食生活改善推進委員がいらっしゃるのですが、その点の連携などはいかがのでしょうか。されているのでしょうか。

○委員長（菊川敬人）

保健福祉部長。

○保健福祉部長（田辺弘子）

では、簡潔にということなので。食生活改善推進協議会と連携をして実施をしていく予定でございます。

○委員長（菊川敬人）

ほかにございませんか。

湯川委員。

○3番（湯川洋治）

給食費の納付金についてお伺いしますけれども、小学生、これは1人当たり4,100円ということで伺っていますけれども、低学年と高学年の区分分けというのは考えないのですか。

○委員長（菊川敬人）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、今のご質問にお答えいたします。

小学校ですと今は4,100円ということで、1年生から6年生まで徴収をしているところでございます。今の考え方ですと、1年生から6年生まで生活をしているので、そのトータルとしての4,100円という捉え方をしておりますので、今のところ低学年、高学年で給食費を分けるような考えはありません。

以上です。

○委員長（菊川敬人）

湯川委員。

○3番（湯川洋治）

ありがとうございました。実は、私の孫は小学生がいて、別の学校なのですが、そこではちゃんと区別をされていたので、ちょっと関連を聞いてみました。ありがとうございました。

○委員長（菊川敬人）

ほかにございませんか。

（「なし」という者多数）

○委員長（菊川敬人）

では、以上で、議案第25号 平成28年度開成町給食事業特別会計予算について、質疑を終了します。